

口は健康のもと Vol.131

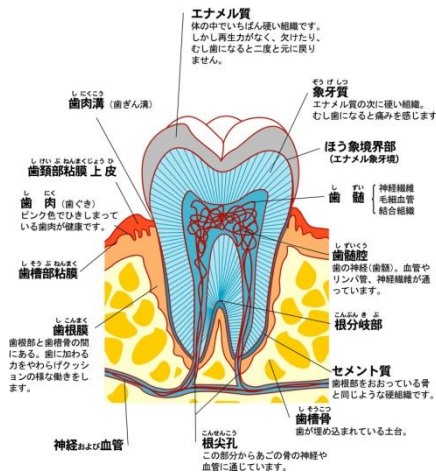
根面う蝕はご存じですか ～高齢者に多い虫歯～

一般的に虫歯がしやすいのは、歯の噛む面や歯と歯の間ですが、高齢者では歯と歯茎の境目から根の部分にできる「根面う蝕（こんめんうしょく）」と呼ばれる虫歯が増えてきます。

歯周炎による歯周組織の破壊が主な原因で歯の根の部分が露出することがあります。歯の頭の部分はエナメル質で覆われ、う蝕に対する抵抗力があります。根の表面にはこれが無いのでう蝕になりやすいのです。

また唾液には抗菌性物質が含まれていますが、高齢者は加齢や薬の副作用の影響により唾液の量が減少することでプラーク（歯垢）の形成を抑制する効果が弱まります。唾液の分泌は噛むことで促されますので、歯を失ったらインプラント治療や入れ歯を作ってもらいしっかり噛めるようにすることが大切です。

根面う蝕は目につく部分なら虫歯の部分を削り接着性のある材料を詰めます。しかし、目につかない歯肉縁下の部分に罹患した症例では歯槽骨整形（歯が植わっている骨を削る）か挺出（歯の根を引き出す）を行い、時には抜歯になってしまいます。そうならないためには予防と治療が重要です。フッ素入りの歯磨剤や洗口剤の使用や普段のブラッシングに加え歯間ブラシを使用すること、そして歯科医院で適切な歯周治療を受けることが重要です。



奥羽大学歯学部附属病院
総合歯科 講師 釜田 朗